(-)

五周年の節目の年を迎

記念式典を挙行いた

これを契機として更に団

保守政治への回帰に努め

でいく責務があります。

ります。

方にとって今年

一年が実

結びに、ご遺族の皆様

こざいます。

明けましておめでとうしました。式典は、

天皇

辻

秀

久

員 長

日

本

遺

族 슾 슾

ご遺族の皆様におかれ

お健やかに新

| くのご来賓の方々にご出

ぎ、三権の長をはじめ多

皇后両陛下のご臨席を仰

席いただき、厳粛かつ盛

大に執り行われました。

電話代表 F A X

所

岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟

岸豊

定価(郵税共)年額1,200円 ムページ http://izoku-okayama.jp/

郵便振替岡山01230-9-3532

行 所 〒703-8272

086-271-7175

086-271-4815

美男

ころであります。 お力添えをお願い

る、国として報いるため

の特別給付金ですので、

た妻の皆様方をお慰めす

女手一つで苦労され

したと

清始 本

西尾総合印刷株式会社

われわれは遺族の相互扶 助、道義の高揚につとめ、 平和日本建設に寄与し、 争の防止、世界恒久平和の 確立を期するを信条とする。

年をお迎えになられたこ

ととお慶び申し上げます。

本会は創立六十

私たち遺族にとりまして

大変大きな励みとなり、



0 財団法人 岸 本 清

岡山県遺族連盟会長

とうございます。 健やかに新年をお迎えに 下遺族代表のほか、県知 立六十五周年を迎え、県 なられたこととお慶び申 昨年、県遺族連盟は創 ご遺族の皆様には、 新年明けましておめで | ご来賓のご参列をいただ 県議会議長ら多数の お 一を称えると共に、 組織運営に長年ご尽力を 進することを誓いまし 挙行し、遺族会の目的達 彰式を執り行い、その栄 成のため一致結束して邁 いただきました方々の表 いて盛大なる記念式典を た。そして、遺族運動と

更なる 美 様お願い申し上げます。 る国造りこそ残された私 られたご英霊にお応えす 立の基本は何ら変わるこ たちの使命でありますの 機に際して尊い命を捧げ とはありません。国の危 日本建設という遺族会設 続いてご支援を賜ります ます。勿論、ご英霊の慰 四月から一般財団法人と 霊顕彰と遺族援護、平和 して新たな出発をいたし 八制度改革に伴い、今年 また、本連盟は公益法 会員の皆様には引き

> 国の方向性を決める総選 方、 更には経済が沈下す 震災復興は大幅に遅 国政では今後の りながらも、これからの これら直下の危機に当た 平和の中での理想と厳し なしに国家という存在、 実感させることとなりま ら不理屈な圧力は、 しています。 など、大きな課題が山 在り方を示す憲法の改正 国造り、日本という国の したが、安倍政権には、 い現実との乖離を国民に

今年は先の大戦から六

発を誓いあったところで 結を強固にし、 新たな出

彰し後世代へと引き継い れることなく、

挙が師走に実施され、自 昨年の大震災、そし す。 関係する事柄でありま 題の解決は憲法と大きく の悲願である靖國神社問 霊顕彰運動、 遺族運動の柱である英 是非とも戦後憲法の

えにあることを決して忘 十八年目の年となりま がえのない肉親を失った 会において、戦争でかけ ようです。そのような社 国民は戦争の悲惨さ、平 す。戦争の記憶が風化し、 れた英霊の尊い犠牲のう 和と繁栄が戦争で散華さ 私たちは、今の日本の平 和の尊さを忘れつつある 英霊を顕 ためにも、全国のご遺族 ます。これらを解決する 善事業の充実、遺骨帰還 平成二十七年に最終償還 事業の拡充強化等、 者遺児による慰霊友好親 りません。更には、 を迎える特別弔慰金の継 結束と行動力の発揮をお の皆様方に、より一層の には課題が山積しており 推進していかなければな 願い申し上げる次第であ

特に遺族会 否応 は、いよいよこれから本 これら諸課題解決に向け 祖国復活に全力を傾注し 護りいただいた誇りある た日本再生、ご英霊にお 改正に挙党一致で取り組 二十五年度政府予算編成 たします。 ただき、引き続いてご支 もありません。会員の皆 挙であることは申すまで 今夏に行われる参議院選 ていただきたい。 援を賜ります様お願いい 様方には何卒ご理解をい ての最初のハードルは、 越年となりました平成 歴史と伝統に立脚し 勿論、

ど、

遺族会には多くの課

そして組織の継承な

たいと思います。

英霊顕彰、遺族処遇改

皆様方に喜んでいただき 何としても継続し、

妻の

遇改善につきましては、 また、戦没者遺族の処 増額に向けて運動を 題は「戦没者の妻の特別 格化します。ご承知のと おり、遺族会の最重要課 給付金」の継続・増額で あります。最愛の夫を失

と今後益々のご活躍を心

ご遺族皆様方のご多幸

から祈念申し上げ、年頭

す様お願いする次第であ ら前へ進んでいただきま 歩ずつでも出来ることか

覚悟でございますので、 問題解決に全力を尽くす 今後とも知恵を出し合い 題が山積していますが、

遺族会の皆様方には、

のご挨拶といたします。

戦没 本会 申し上げます。 り組む所存でございます 祉の向上に全身全霊で取 はありますが、更に英霊 ご協力を衷心よりお願 ので、変わらぬご支援、 の顕彰と戦没者遺族の福 好機と捉え、私も微力で 人に移行します。これを 今年四月に本会は新法

_ う、 げ、 り多い年であります 勝ご多幸を祈念申し上 新年のご挨拶とい 益々のご活躍とご健 ょ

ていかなければなりませ て益々強まる近隣諸国か 事態となっています。 度重なる領海侵犯など、 るばかりか、中国による 約三年間の民主党政権 援をいただきましたが、 皆様方から大変なるご支 に復帰し安倍政権が誕生 国家の主権が脅かされる 下 取り戻す」を合言葉に、 いたしました。「日本を

ているところであります 民主党政権が終わり、 様より自由民主党に対し 大な転換期にさしかかっ た衆議院選挙におきまし 本の民主政治も極めて重 いました。三年間続いた て絶大なるご支援を賜 あります。 ては、全国のご遺族の皆 さて、昨年末に行われ 誠にありがとうござ 私たち戦没者遺族は

0

て参ることを誓い合った

支援とご協力をいただき

前 日 本 衆

遺 議 賀 族 院 슾 議 顧 員 問 誠

おかれましては、お健や かに新年をお迎えになら しざいます。 明けましておめでとう 全国のご遺族の皆様に

げます。 六十五周年にあたり、私 たち戦没者遺族にとりま 昨年は日本遺族会創立

お新

さ

(1

更に一致結束し、前進し して大きな節目の年とな 厳粛かつ盛大に挙行し、 会創立六十五周年式典を のご来賓の方々にご臨席 下のご臨席のもと、三権 大臣、総務大臣ほか多く の長をはじめ、厚生労働 りました。天皇皇后両陛 をいただいて、日本遺族 長を先頭に、皆様方のご 等々、まだまだ解決しな

れたこととお慶び申し上

善並びに慰霊事業の継続 彰、 ところであります。 ていただいた年でもあり 族会会長の職を辞任させ ていただきました日本遺 ましても約十年勤めさせ 日本遺族会は英霊 また昨年は、私にとり 戦没者遺族の処遇改 ために一層の精進努力を ますが、今後も戦争のな 努めて参る所存でござい も遺族会の更なる発展に し、皆様と共にこれから い平和な社会を確立する す。私も微力ではござい し上げる次第でありま ますよう心よりお願い申

会

事

りません。昨年ご就任い 積しており、遺族会の運 ければならない課題が山 動を後退させる訳には参 ただきました尾辻秀久会 念申し上げ、新年のご挨 拶といたします。 ご遺族皆様方の益々のご 活躍とご健勝ご多幸を祈 最後になりましたが、

日 本 水 遺 落 院 族 슾 敏 顧 員 問

りの総選挙が行われ、全 国のご遺族皆様の温かい 交代を果たすことが出来 気で新しい年をお迎えの ことと拝察いたします。 こ支援に支えられて政権 昨年末には、三年半ぶ こ遺族の皆様にはお元

毎月十五日発行

(1173)

ました。先ずもって、

外交・安全保障が脅かさ

政党に阻止されかねませ

その為にも、

拶といたします。

評議員

能な公約に国民は翻弄さ 耳障りは良いが実現不可 よりお礼申し上げます。 め、竹島・尖閣諸島など 普天間基地問題をはじ れました。経済は低迷し、 主党政権下での三年半、 党利党略を優先した民

おります。 らの復旧・復興にも的確 多くの被災者は未だ困難 未曾有の東日本大震災か な生活を余儀なくされて な支援策が打ち出せず、 れる事態を招き、更には

という立党精神に立ち、 はじめ、信託をいただい 民党は全国のご遺族皆様 ません。故に、私ども自 た国民の皆様にお応えす 党が国民の皆様に積極的 べく「政治は国民のもの に選択された訳ではあり おいて必ずしも自由民主 しかし、今回の選挙に 遺族会組織の存続をかけ 妻の特別給付金、そして、 平成二十五年の戦没者の 希求する政党として、遺 展と平和な世界の構築を た英霊に感謝し、 繁栄の礎を築いて下さっ た平成二十七年の特別弔 族会の最大の懸案である 慰金の継続に尽力して参 国の発

す。 い日本を目指して参りま の再生に取り組み、新し ---旧・復興を第一に、 東日本大震災からの復 済・教育・外交・暮らし 経

う丁寧に、粘り強く再生 策も党利党略を優先する は、建設的で実効的な政 れが解消されないままで す。しかし、衆参のねじ の道を模索して参りま より良い年でありますこ ご健康と平成二十五年が ご指導を仰ぎながら、 結びに、ご遺族皆様

岡山市岡山 **倉敷市玉島** 平 同副部長 女性部長 監 成二十五年 元旦 笠岡市 西岡 大山 寺市

藤原 浅野 難波 **豪東京製** 勝田郡 笠岡市 津山市

鈴木 **倉敷市倉敷** 西岡 大山 寺市

佐々木征治

綾子

鈴木

木村喜久江

山本よし子

大月

高梁市

徳 田 坂根 富岡

岡山市上道

西岡 大山市

ります。 ん。私どもは国民の皆様 易なものではありませ にご理解をいただけるよ " 日本再生の道のりは容

美作市郡

和気郡

小田郡

そして、今日の平和と

すので、引き続いてご指 身全霊で頑張って参りま を内外に示すことが大切 切にお願い申し上げます 導ご鞭撻を賜りますよう であります。私は各位 参議院選挙で遺族会の力

とを心から祈念し、 榎 岡 本 省三 渡辺 岡本美智夫

事務局 須藤 松原 豊久百合子

久 米 郡 郡

苫田郡 真庭郡

備前市 評議員 白木登亀子 藤原 平松 高田征八郎 服部 佐藤 小豆澤 嶋田 松浦満利子 小椋 石坂早智子 水完 克美 倉敷市玉島 瀬戸内市 備前市 玉野市 津山市 **倉敷市倉敷** 真庭市 赤磐市 新見市 高梁市 井原市 笠岡市 " " " " "

などに寄せられた遺族の や| 創立五十周年記念誌

声を読むにつれ、

なお

(三)

遺族運動は国・県単位

らないとの思いに駆られ

層の努力をしなければな

語り部の会

井原市遺族連合会会長

渡

要について報告させていただきます。 進めていましたが、昨年末、その第一歩を踏み出しましたので、 ました。私たち井原市遺族連合会でも、以前から「語り部の会」の必要性 について話し合っていたこともあり、この「語り部」を実行すべく準備を 会』の開催などを企画検討する」との平成二十四年度事業計画が決定され 岡山県遺族連盟の理事会・評議員会で、「地域学校等における『語り部の 活動の概

実施までの経緯

たが、遺族会には、まだ ない問題が多くありま 児も随分高齢になりまし 少なくなられ、私たち遺 勿論、妻の方々も次第に 発刊した「英霊からの便 す。井原市遺族連合会が まだ解決しなければなら 発刊された体験記「風雪 更には岡山県遺族連盟で 期間を経て昨年発刊)」、 に、三年間の調査・編集 戦没者の父母の方々は (平成の市町合併を機

実態に即した運動も必要 ありますが、各市町村の なければならない問題も ではなかろうかと思いま により組織立って当たら

す。日本遺族会の大会宣 | 要性を認識し、実施方法

いては、以前からその必 継ぐこと」の大切さにつ 和の尊さを次世代に語り いる「戦争の悲惨さ・平 言のトップに掲げられて

ご英霊と遺族の声を子供たちに届ける

(語り部の会) 好感触を得て、また、市 間でなく、四十五分間使 の教育委員会からも前向 っていただければ」との 伝えたところ、「僅かな時 出かけて私たちの思いを くことができました。

ません。 ちも勉強しなければなり で行えば良いのか、私た 方法で、どのような内容 きに取り組む姿勢を示し ていただきました。 そうなると、如何なる

◎研修会 (勉強会)

組みの働きかけをされて めることにしました。 いる先進地の実情を聞い て参考にすることから始 先ず、既に実践されて 以前からこのような取 1国をはじめ、

地区別の

大戦を体験し、最後は病

学校から礼状を

大東亜戦争と二つの |……親父は支那事 昨年二月に行った連合会 を模索していましたが、 きました。 迎えしてご指導をいただ が集まり、小林会長をお ンター」へ役員ら七十名 時期ではありましたが、 ましたので、七月の暑い 会長のことは承知してい 井原市地場産業振興セ

いる金沢市遺族会の小林

と一緒に子供たち全員の

いただきましたが、

感想文を送っていただき

― 「戦争は残酷なもの

擦り合わせを行い、 などについて学校と数回 場の様子を拝見し、実施 沢市と共同で作成された との質疑応答のほか、金 に至りました。 整、授業の内容や進め方 行うことが出来ました。 に向けたイメージ作りを 語り部」のビデオで現 その後、授業の日程調 勉強会では、小林会長

地元の小学校に

聞かせ』は可能ではない

だろうか」との意見を聞

時間なら、小学校でのボ

の研修会の席上、「僅かな

ランティアによる『読み

◎学校での実施

テンルパの話

ました。子供たちに伝え が参加いたしました。 部の場を持つことができ ではありましたが、語り 市内の各遺族会から六人 と、校長、教頭、そして で、担任教師は勿論のこ は小学校六年生の児童 た主な事柄は次のとおり 授業が行われた後の年末 授業の対象となったの 授業は、戦争の歴史の | 引用させていただいた | 部を紹介しました。 市戦没者追悼式の挨拶に 員の文集の中から、井原 9その他

が出征し、十歳から母一 人・子一人となりました ⑤戦時中の家庭の様子 ③召集令状・千人針・出 ⑥当時の小学校の様子 てこられた地元遺族会会 が、同じような経験をし ⑧地元に関係のあるモン ⑦遺骨の帰宅、忠魂碑 私自身も二歳の時に父 戦争犠牲者の数 呼ばれてみたい…… 叫んでみたい。息子よと 何とも言えません。 一授業の終わりに、

ありますが、児童たちは

分に伝えきれないことも

限られた時間の中、

です。改めて感謝の気持 理解を示してくれたよう

を朗読。涙を流して聞い さんが「よしこがもえた」 迫るものがありました。 区女性部長の落合由紀子 ることを期待するもので

と学んで、後世に伝えて した。戦争について色々 だということが分かりま

いきたいと思いました」 「今回の授業で戦争はと

略)一度でいいから大き ません。今この歳になっ な声で親父・おふくろと うと思います。ですから 覚えていません。母も親 に小生十歳で、顔も姿も 小生は親の味を全く知り た。さぞ無念であったろ ぬ親父となりました。時 ても寂しさと無念さで、 に倒れ、 三十一才で帰ら

| | ない

も悲しかったと思います 亡くしたんですね。とて

ちも、みんなお父さんを した。先日来られた人た

ても怖いことが分かりま

が、元気に頑張ってくだ

④戦地の様子

征タスキ等

み出したばかりですが、 この活動が各地域に広が さ」を語り続けていかな 争の悲惨さ・平和の尊 ければなりません。また、 後一層の研讃を重ね、 生涯学習の観点からも今 す。私たちは第一歩を踏 携が必要視されていま 現在、学校と地域の連

(四)

島慰霊友好親善事業に参加

岡山市北区原

河 原 新

同二十 ソン島のマニラ港からレ 地で戦没されたご英霊の 好親善事業に参加させて イテ島死守の命令下、ル の病院や小学校を訪問し 慰霊を行うと共に、現地 いただき、亡き父らこの 日程でフィリピン慰霊友 友好を深めて

参りました。 私の父は第三次輸送船 去る十一月十五日から 日、六泊七日の

では、

さお新

(1

だきました。父が乗船し 慰霊祭を執り行っていた らレイテ島のオルモック ルで父の慰霊祭に臨みま 問団に参加させていただ と物資を送る任務の遂行 したが、このたびの訪問 き、オルモック湾のイピ 撃を受け、 へ向かう途中の洋上でも にしながら戦死しました。 八年前の一月、この訪 乗船していた三笠丸 高速船でセブ島か 目的地を眼前 が米軍機の襲

イテ島オルモックへ兵員 になったことを奉告、 います。 い出や、私が目の障害者 慰霊祭では、父との思

さんとレイテ班の皆様方 随所で受けました添乗員 がとうございました。 気持ちで一杯です。あり

げることができ感激して の海に花束と日本酒を捧 ていた三笠丸の沈没付近

族会の皆様、また、旅の 認めていただいた日本遺 身ゆえ、妻の介助参加を 緒に帰ろうと呼びかけま 分に伝えたつもりです。 した。私の思いを父に充 人では参加できない れば送らずに下さい。 では、 みんな体を大事に働き、 酒の肴等送ってしまったのでしたら仕方ありませんが、未送付な 東原悦子殿

又便りします。

元気でや って参りま

東 原 政 春

青森県青森市大字栄町出身 字栄町出身 二十五歳台湾南方洋上にて戦死 昭和二十年一月二十

家の方もみんな元気で、土産ばなしでも待ってゐなさい。 元気でやって参ります。 四年目の正月を遂に、 正月早々、某方面へ出撃、 内地で迎へる事が出来ました。 又一働きする機会に恵まれました。

荷物の中に手入してないものや、洗濯してないものがある予定です 荷物は、鉄道便で不要の物全部送ります。 時々、亡き戦友の仏前へ参って下さい から、よろしく御保存方御願ひします。 破れた靴下やシャツが入ってゐますから、修繕して使って下さい。 大したものはないですが、 勉強する事。 何かの足しになるでせう。

東原政春

30 29 日遺支部女性部長会(旧九段会館 日遺女性部幹事会 (旧九段会館)

【平成二十五年一月

平成二十五年二月行事表

全国戦没者遺族大会/国会陳情(自由民主会館)

日遺支部事務局長会議(旧九段会館) 日遺政都道府県本部事務局長会議(旧九段会館) 日遺政理事会・総会(靖國会館)

んと妻の和栄さん

1310 日 日

北方領土返還要求県民会議幹事会(岡山商工会議所) 岡山市瀬戸遺族連合会正式参拝・新年互礼会

歳旦祭(県護國神社)

平成二十五年一月行事表

(11月16日)

族

会

Ø

動

倉敷市遺族連合協議会靖國神社団参・国会陳情

5 日

292725181716 日日日日日日

新見市遺族連合会新年互礼会(新見市内)

瀬戸内市遺族連合会役員会(牛窓町内) 津山市遺族連合会新年互礼会(津山国際日) 県護國神社崇敬者大総代・総代合同会議(いさお会館)

(県護國神社

倉敷市遺族連合協議会新年互礼会(倉敷市役所)

26206日日日 5 日 日遺理事会・評議員会(靖國会館) 県連盟女性部平成24年度研修会(ホテルグランヴィア岡山 北方領土返還要求県民大会(天神山文化プラザ)

平成二十五年三月行事表

靖國神社社頭揭示 (原文のまま) (東京方面) 二泊



神社初詣 成25年 田 県 護 或